



株式会社 叶 匠寿庵 (大津市)

新容器導入でプラスチック使用量82%削減

株式会社 叶 匠寿庵(本社・滋賀県大津市、代表取締役社長・芝田冬樹)では、プラスチック削減を目的に、「水羊羹」を始めとした水菓子の容器包装資材を昨夏リニューアルしました。

水菓子は、年間250万個を売り上げる人気商品で、従来は竹を模したプラスチックカップを使用し、涼感のある佇まいからお客様に好評をいただいていた。しかし近年の社会問題である温室効果ガス削減の重要性やプラスチックごみ削減の観点から、包装資材製造時における樹脂量を削減した新容器を開発しました。



従来のプラスチックカップ



樹脂量を削減した新容器

日本古来の麻の葉文様デザインの新容器の導入により、従来の涼感のある佇まいもそのままに、原料である樹脂量を1個あたり28gから5gへと従来比82%の減量を達成しました。また重ねて保管できる形状であることから、輸送の頻度を10分の1へと減らすことができ、これにより樹脂製造時と輸送時のガソリンが発生させるCO₂排出量を1個あたり32.5g、250万個あたり81.25トンの削減を見込んでいます。



株式会社 叶 匠寿庵

住所: 滋賀県大津市龍門四丁目2-1
 TEL: 077-546-3477 FAX: 077-546-3480 HP: <https://kanou.com/>
 設立: 昭和33年9月(1958年) 資本金: 7980万円
 業種: ・和菓子の製造・販売
 ・茶室、茶事(懐石料理と茶席)
 ・一般飲食事業(喫茶・甘味処)

当社の水羊羹の容器は、本物の竹のように容器に厚みがあり、見た目にも喜ばれていたため、変更することは勇気がいることでした。しかし、環境への配慮を優先。また単にプラスチックの使用量を減らすだけではなく、氷の結晶から着想した日本の古典柄「麻の葉」をモチーフとし、デザインにもこだわりました。



秘書広報課 課長
池田 典子 さん

